



観音寺市



KAN-ONJI

# 介護予防・日常生活支援総合事業等の充実 のための市町村支援事業

～観音寺市の「ワンチーム」づくり報告 そしてこれから～

観音寺市健康福祉部高齢介護課  
介護保険係 ・ 介護事業係  
地域包括支援センター



# 観音寺市の概要

- 面積 117.84 km<sup>2</sup>
- 人口 59,692人 高齢化率 32.75%
- 要介護認定率 16.5%
- 第7期介護保険料 64,800円
- 交通機関 JR 2駅 市内循環バス  
車がないと生活できない
- 地域包括支援センター 1か所  
平成26年度～4年間委託  
→平成30年度から直営へ（3年目）
- 四国の中央に位置し、香川県の最西端



KAN-ONJI

「らりるれレタス」 「豊南の梨」



<https://www.city.kanonji.kagawa.jp/site/ijyu/>



高屋神社の「天空の鳥居」

「じゃらん」 2020  
行きたい美し過ぎる  
パワースポット全国2位

観音寺市へ  
お越してください



砂絵 「寛永通宝」



太鼓台 「ちょうさ」



いりこの島  
「伊吹島」



伊吹いりこ



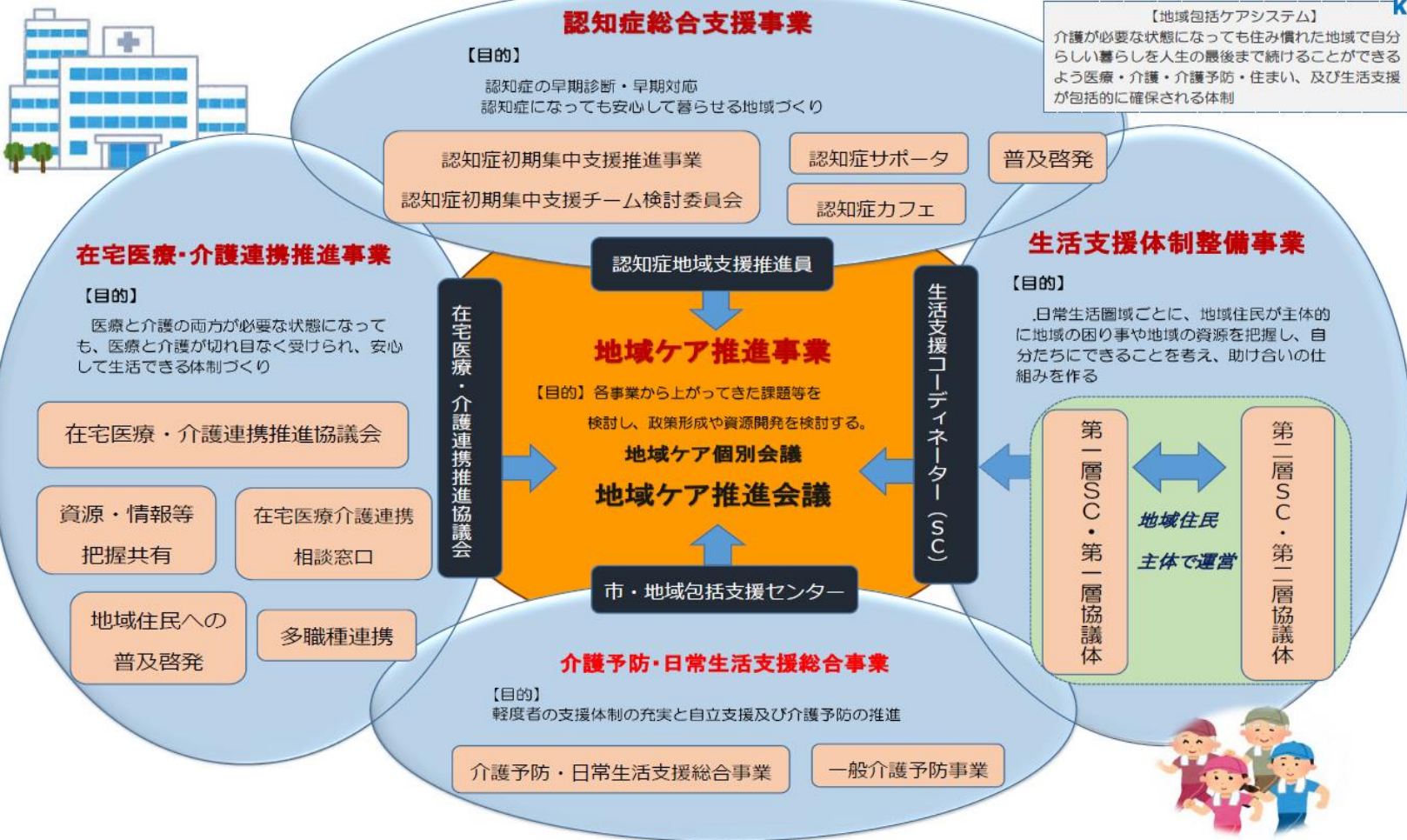
# 観音寺市の地域包括ケアシステムの体制図

資料 1



KAN-ONJI

【地域包括ケアシステム】  
介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう医療・介護・介護予防・住まい、及び生活支援が包括的に確保される体制



# 総合事業における今までの取組



KAN-ONJI

- 平成27年度～ 総合事業開始に向けて検討会開始
- 平成28年4月～ 総合事業開始
- 平成29年度～ 研修会開催（ケアマネジメント力向上）毎年1回  
対象者:介護支援専門員・事業所・リハ職  
講師と個別ケア会議について意見交換し質の向上
- 平成29年度～ 短期集中C事業検討会を事業者（OT）と行い、  
平成30年度から開始
- 令和元年度～ 地域密着型サービス事業所の会で自立支援について考える
- 令和2年度 ケアマネジメント力の向上研修会  
総合事業の検討会再開



# 悩み



KAN-ONJI

要介護認定率は低い  
が、事業対象者が多い  
自立支援が進まない  
なあ・・・

短期集中事業C開始した  
が、事業の対象者が  
抽出されてこない・・・

介護予防の事業見  
直し必要だけ  
ど・・・

住民や事業所自立支  
援の共有が難し  
い・・・

地域のケアマネ元気な  
い 自立支援に関心薄  
い？

事業費の上限超えの解  
決に時間かかる・・・

人事異動で職員が  
入れ替わり共有  
が・・・

今まで積み上げたこと  
の検証ができてない  
データ分析弱いなあ



# エントリーシート内容



KAN-ONJI

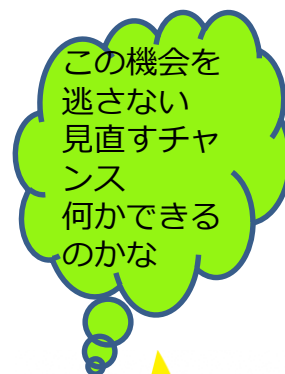
## 課題

○短期集中事業や介護予防マネジメント、地域ケア個別会議等で介護予防や自立支援を推進できるような取り組みを行ってきたが、目指す方向性の共有に課題が多く、解決に時間を要している。

○短期集中事業においてケース選定、多職種連携、利用者の制度理解が十分でなく、思うような事業展開ができていない。

○要介護認定率は低いが事業対象者は多く、介護予防のしくみづくりやサービス卒業し、地域で暮らせるようなマネジメントが進んでいない。

○目指す方向性を整理して進めてきたが、費用対効果が十分でなく、事業の上限額越えが解決していない。



## 取り組みたいこと

○現状を評価し、課題整理、分析を行い、介護予防・日常生活支援総合事業や生活支援体制整備事業、地域ケア会議等各種事業を連動させることで、地域住民主体の介護予防のしくみづくりに向けて取り組みを進める。

結果、安心して地域で暮らせる体制づくりを構築しさらに、事業費の限度額超えの解決をしたい。

○市全庁で地域包括ケア体制構築を推進できる体制を作りたい。

# 第1回目

## 意見交換会

### 気付いたことや認識したこと

- 現状分析が不足していた
- 虚弱高齢者把握と定義が十分でなかった
- 住民と今後のビジョンの共有が十分でなかった
- 事業対象者の状態像が曖昧だった
- 目指すビジョンを達成するためには、庁内連携が重要なカギになること



KAN-ONJI

### これからのポイント

- ☆ どのような市にしたいのか、「ビジョン」今よりも具体的にしておくこと。→現状をしっかりと分析する
- ☆ メンバーと「ビジョン」共有がカギ  
庁内連携や住民との意識共有も大切
- ☆ 戦略的にしくみを作り取り組むことがポイント
- ☆ 今後に向けて何を優先して取り組むのか  
何を大切にしていくのか  
足りないものは何か  
第8期介護保険事業計画を意識しながら、ロードマップが必要  
そして、事業評価し、PDCAサイクルが大切
- ☆ できていない事だけに目を向けるのではなく、強みを知り、生かした展開をすること



部長  
課長  
補佐も参加

これは、  
観音寺市の  
強みです



# 1回目終了後

## メンバーで検討会開催

### これからのポイント

- ☆ どのような市にしたいのか、「ビジョン」今よりも具体的にしておくこと。→現状をしっかりと分析する
- ☆ 戦略的にしくみを作り取り組むことがポイント
- ☆ メンバーと「ビジョン」共有がカギ  
庁内連携や住民との意識共有も大切
- ☆ 今後に向けて何を優先して取り組むのか  
何を大切にしていくのか  
足りないものは何か  
第8期介護保険事業計画を意識しながら、  
ロードマップが必要  
そして、事業評価し、PDCAサイクルが大切
- ☆ できていない事だけに目を向けるのではなく、強みを知り、生かした展開をすること

### 2回目までに

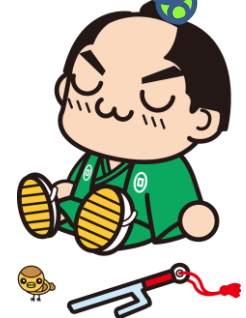
- ・これから何に取り組む必要があるか、明確にするため、データから要支援者の状態など分析する（実態把握）
- ・一般介護予防事業を再編するために、地域の実態把握し、事業案を作る
- ・次年度の事業の予算化  
介護予防把握事業実施  
短期集中事業のプロジェクトチームの立ち上げ
- ・目指す方向性を共有し、それぞれの役割を理解する為に、関係者を対象に研修会を2回目の支援で開催しよう



KAN-ONJI

できること始めよう  
次回まで1か月

役割分担



# 2 回目の内容

午前



KAN-ONJI

研修会 「地域包括ケアシステムって何だろう？それぞれの役割は？」



参加者アンケートから課題は

- ①市のビジョンの共有不足
- ②介護保険理念の共有不足  
(規範的統合)
- ③ 介護支援専門員のケアマネジメント力不足

分かった事

- ☆ 観音寺市のビジョンを更に具体的にし、根拠になるデータや説明できる資料の内容、見せ方、伝え方がポイント
- ☆ 市として規範的統合の重要性を再認識
- ☆ 進むべき方向性に向かって取り組むべき事業内容、方法等一部担当者だけで考えるのではなく、他の立場からの意見を聞くことで、発見や気づきを得ることがある。  
これを中心となって進めていく者の強い意思と覚悟が必要「あきらめないこと」

課題を感じている  
仲間がいた  
これから手を繋ぐ  
仲間がいた



# 2回目

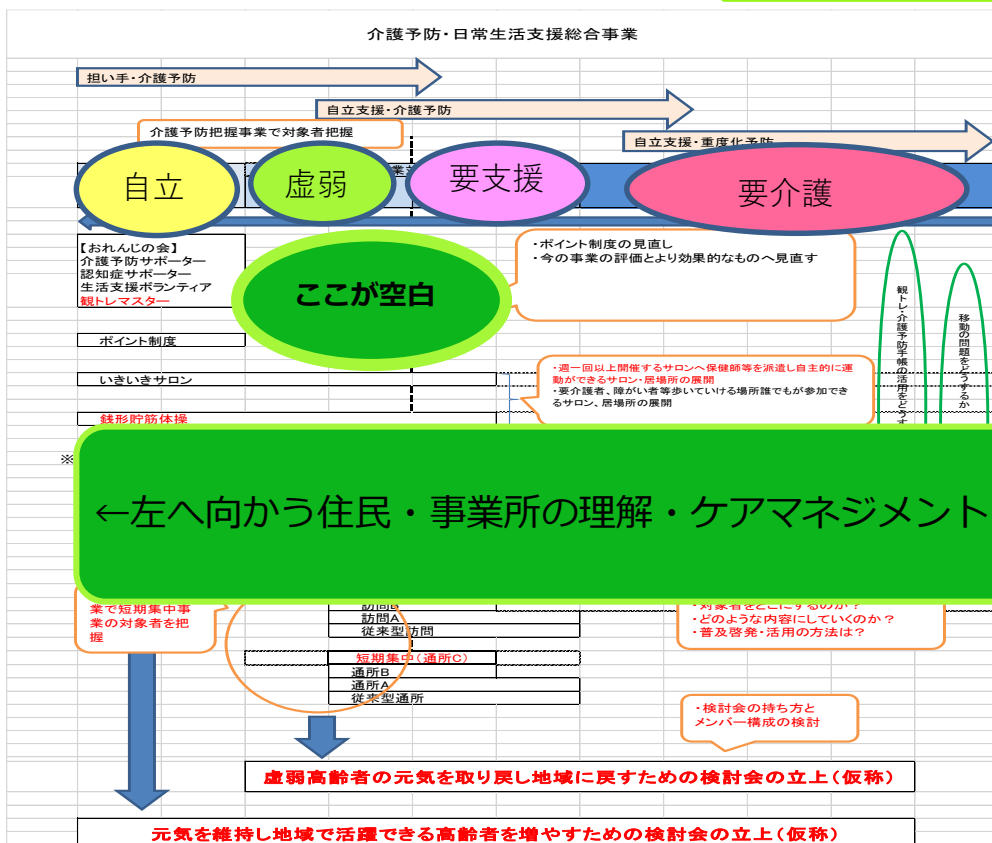
午後

## 内容

- ・データ分析報告
- ・要支援者に真に必要なものは  
→短期集中事業の再構築



KAN-ONJI



## 方向性

- ・データ分析は事業の必要性を把握し、活用できる効果的なものにする
- ・方向性をロードマップに落すこと（第8期介護保険事業計画との連動性）
- ・短期集中事業の方向性を決め、プロジェクトチーム（案）を作る
- ・庁内連携しくみづくりはトップダウンがベスト



# データ分析



データ分析担当 KAJI

短期集中事業のターゲット層を絞り込む分析が大切



## 要介護認定申請者(要支援者)の状態



日常生活圏域調査から

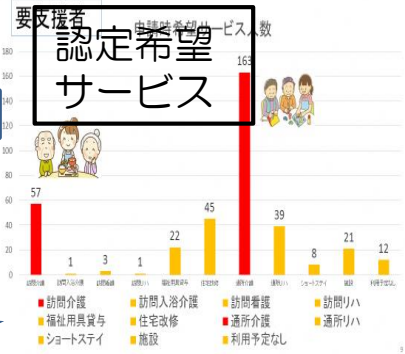
■観音寺市の将来人口推計 全市一括推計

平成27年(2015年)から令和22年(2030年)までの住民基本台帳人口を推計人口として、コーホー変化率法により予測を行いました。

合計	2016	2019	2020	2021	2022	2023	2025	2028	2030	2035	2040
年齢	21,988	21,619	21,042	20,663	20,286	19,893	19,178	17,580	16,043	14,569	14,080
0歳~4歳	10,995	10,910	10,733	10,563	10,403	10,183	11,763	16,723	15,671	14,080	
5歳~9歳	4,916	4,459	4,304	4,113	3,950	3,830	3,760	3,481	3,306	3,069	
10歳~14歳	4,355	4,630	4,903	5,107	4,937	4,630	4,064	3,554	3,271	3,12	
15歳~19歳	4,416	4,416	3,599	3,531	3,353	3,174	2,942	2,651	2,327	2,071	
20歳~24歳	4,416	4,416	3,599	3,531	3,353	3,174	2,942	2,651	2,327	2,071	
25歳~29歳	4,416	4,416	3,599	3,531	3,353	3,174	2,942	2,651	2,327	2,071	
30歳~34歳	4,416	4,416	3,599	3,531	3,353	3,174	2,942	2,651	2,327	2,071	
35歳~39歳	4,416	4,416	3,599	3,531	3,353	3,174	2,942	2,651	2,327	2,071	
40歳~44歳	4,416	4,416	3,599	3,531	3,353	3,174	2,942	2,651	2,327	2,071	
45歳~49歳	4,416	4,416	3,599	3,531	3,353	3,174	2,942	2,651	2,327	2,071	
50歳~54歳	4,416	4,416	3,599	3,531	3,353	3,174	2,942	2,651	2,327	2,071	
55歳~59歳	4,416	4,416	3,599	3,531	3,353	3,174	2,942	2,651	2,327	2,071	
60歳~64歳	4,416	4,416	3,599	3,531	3,353	3,174	2,942	2,651	2,327	2,071	
65歳~69歳	4,416	4,416	3,599	3,531	3,353	3,174	2,942	2,651	2,327	2,071	
70歳~74歳	4,416	4,416	3,599	3,531	3,353	3,174	2,942	2,651	2,327	2,071	
75歳~79歳	4,416	4,416	3,599	3,531	3,353	3,174	2,942	2,651	2,327	2,071	
80歳~84歳	4,416	4,416	3,599	3,531	3,353	3,174	2,942	2,651	2,327	2,071	
85歳以上	4,416	4,416	3,599	3,531	3,353	3,174	2,942	2,651	2,327	2,071	
推計総人口	60,596	60,071	59,042	58,722	58,099	57,455	56,147	52,759	49,200	45,573	
0歳~4歳	10,601	10,542	10,567	10,496	10,430	10,376	10,206	10,455	10,516	10,634	
5歳~9歳	10,350	10,415	10,360	10,276	10,137	10,008	11,375	11,440	10,839	10,112	
10歳~14歳	10,350	10,415	10,360	10,276	10,137	10,008	11,375	11,440	10,839	10,112	
15歳~19歳	17.1%	17.3%	17.5%	17.5%	18.1%	19.0%	20.3%	21.7%	22.2%	22.2%	
20歳~24歳	22.8%	23.3%	23.8%	24.2%	24.6%	25.3%	26.6%	28.1%	28.6%	28.6%	
25歳~29歳	22.8%	23.3%	23.8%	24.2%	24.6%	25.3%	26.6%	28.1%	28.6%	28.6%	
30歳~34歳	22.8%	23.3%	23.8%	24.2%	24.6%	25.3%	26.6%	28.1%	28.6%	28.6%	
35歳~39歳	22.8%	23.3%	23.8%	24.2%	24.6%	25.3%	26.6%	28.1%	28.6%	28.6%	
40歳~44歳	22.8%	23.3%	23.8%	24.2%	24.6%	25.3%	26.6%	28.1%	28.6%	28.6%	
45歳~49歳	22.8%	23.3%	23.8%	24.2%	24.6%	25.3%	26.6%	28.1%	28.6%	28.6%	
50歳~54歳	22.8%	23.3%	23.8%	24.2%	24.6%	25.3%	26.6%	28.1%	28.6%	28.6%	
55歳~59歳	22.8%	23.3%	23.8%	24.2%	24.6%	25.3%	26.6%	28.1%	28.6%	28.6%	
60歳~64歳	22.8%	23.3%	23.8%	24.2%	24.6%	25.3%	26.6%	28.1%	28.6%	28.6%	
65歳~69歳	22.8%	23.3%	23.8%	24.2%	24.6%	25.3%	26.6%	28.1%	28.6%	28.6%	
70歳~74歳	22.8%	23.3%	23.8%	24.2%	24.6%	25.3%	26.6%	28.1%	28.6%	28.6%	
75歳~79歳	22.8%	23.3%	23.8%	24.2%	24.6%	25.3%	26.6%	28.1%	28.6%	28.6%	
80歳~84歳	22.8%	23.3%	23.8%	24.2%	24.6%	25.3%	26.6%	28.1%	28.6%	28.6%	
85歳以上	22.8%	23.3%	23.8%	24.2%	24.6%	25.3%	26.6%	28.1%	28.6%	28.6%	

※参考 第2期観音寺市人口ビジョン(令和2年3月)による令和22年(2040年)の将来推計人口

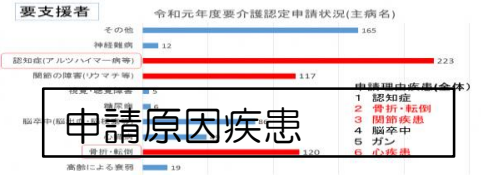
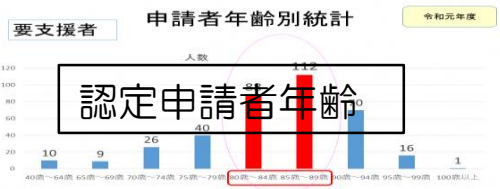
将来人口推計



要介護認定将来推計

	平成25年 3月末	平成30年 3月末	令和元年 3月末	令和2年 3月末 推計	令和3年 年度	令和7年 年度	令和12年 年度	令和17年 年度	令和22年 年度
認定者数	2,968	3,149	3,225	3,237	3,250	3,328	3,375	3,420	3,359
要支援1 (人)	473	551	583	581	587	596	611	614	594
要支援2 (人)	360	305	325	350	364	374	386	394	378
要介護1 (人)	752	870	841	854	856	859	844	855	859
要介護2 (人)	752	870	841	854	856	859	844	855	859
要介護3 (人)	385	487	476	467	470	472	472	479	477
要介護4 (人)	315	310	291	300	288	298	301	302	299
認定率 (%)	16.3	16.1	16.4	16.5	16.6	17.3	18.2	19.4	19.7
認定率(全国) (%)	17.6	18.0	18.3	18.5					

※注記: 「推計」は平成25年(2013年)から平成30年(2018年)までの住民基本台帳人口を推計人口として、コーホー変化率法により予測を行いました。





KAN-ONJI

# 一般介護予防事業の目指すもの

再編しました

☆ 元気な期間を延ばす  
(要支援になるまでの期間延ばす)

☆ 健康寿命の延伸が大事

好きな事が  
最期までできること

何歳になっても！自分らしく元気に過ごしたい



元気な65歳以上の市民（アクティブシニア）の皆様がこれからもずっと元気でいられるようにと願いを込めて介護予防教室を展開していきます。



「立つ・座る・歩く」ことに重点をおいた運動プログラムです☆運動のプロと一緒に頑張りましょう！



# 3回目までの取組

- 現状分析から高齢者の詳細な状況が見えてきた
- 各種事業の対象者や状態のイメージ化が深まった
- 更に支援の必要な者を数値化する（把握事業A・Bリスト）
- 短期集中事業を効果的に進める為のイメージ化を深めること
- 短期集中プロジェクトチーム（案）を作成する



KAN-ONJI

やりたい  
こと欲張  
らない

話し合い繰  
り返してい  
るけれど、  
共有難しい

全体像は作  
れたけれど、  
具体案が進  
まない

ロードマップ  
は第8期介護  
保険事業計画  
の課内会で考  
えよう





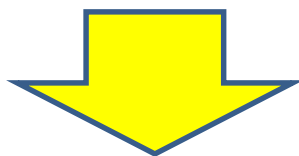
# 短期集中事業のイメージ化する為に



タイミングよく田中さんからの  
お電話



ZOOM会議の開催



課 題

上手くいかなかった事を共有しないと進まない

成功体験  
が必要

## 結果

第3回支援までに

短期集中事業検討委員会の目的・スケジュール検討  
リハ職のヒアリング実施し、今後のメンバーとなる方探し  
短期集中事業の方法など具体的にしていく





KAN-ONJI

# 短期集中事業の共有を図るために

模擬 個別ケア会議の開催

目的  
対象者選定、目標設定の検討

- リハ職アドバイザーからの要望もあり、利用者の状態像を動画で共有
- 本人の意欲や家族の協力体制など確認。予後予測等から対象者選定。
- 方向性の確認と支援方法の意見交換

動画で共有





# 3回目

まだまだ  
経過途中です

## 報告

- 短期集中事業検討委員会目的・スケジュール（案）
- リハ職ヒアリングまとめ
- 短期集中事業（案）
- 現在までの事業実施の課題の洗い直し

最終回だけど・・・  
これからのしくみをしっかり  
作ること  
第9期に向けて体制づくり  
基礎固めの時間



市長へもブリーフィング  
庁内連携の方向性も知って  
もらえた  
市長の高齢者の自立支援の  
考えも聞いた 「繋がる」

田中さんアドバイス

事業の再構築には時間  
をかけて練る・意見交  
換することが重要



KAN-ONJI

# 3回目を終えて



KAN-ONJI

ワンチームで取り組む  
ビジョンを共有して  
あきらめないこと

目的・ビジョンを  
確かめ合いながら

できる事から  
取り組もう

- 目指す方向性の整理はでき、課題の取り組むべきことが明確になった
- 介護予防のしくみづくりの方向性の整理ができた
- ロードマップは介護保険事業計画で整理した
- 「高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施」の介護保険部門の役割の整理ができた

## これからの取組

- ☆ R3年度短期集中プロジェクトチームで事業共有しながら、R4年度開始に向けて事業の具体化をする
- ☆ 虚弱高齢者を早期発見し、早期介入するためのしくみづくりをする
- ☆ 住民が自ら介護予防に取り組める地域づくりをする
- ☆ 機会を捉えた具体的なビジョンを共有し続けていく
- ☆ 自立支援に向けたケアマネジメント力向上
- ☆ 庁内連携の体制づくり



# 学び



KAN-ONJI

## ～ たくさんの事を学びました！～

- ☆ 「介護予防・日常生活支援総合事業」だけを捉えるのではなく、他事業や市の施策など広い視点で考え、関係者がチームになり、介護予防・地域づくりを目指すこと
- ☆ このチームはケアマネジャー、事業所だけでなく、住民も含めたチームで将来を描くこと
- ☆ 保険者として、しっかりと役割を果たしていくこと
- ☆ このためには、課内全体でしっかり意見を出し合い、話し合いを重ね、同じ方向性に向かって進めていくことが重要



観音寺市はあきらめ  
ないぶれない  
ワンチーム



# 最後になりました

## 感謝とお礼

- ☆ 事業の組み立てにおいて、様々な場面での確かなアドバイスや助言をいただくことで、新たな気づきを得たり、自信を持って進んでいくことができました。
- ☆ 課内全体で、事業の振り返りや今後の展望を協議、共有できたことが良かったです。今回事業参加していない職員、関係者等共有していくことが必要と考えています。
- ☆ まず、自分たちの中で、しっかりとしたビジョンを持ち、言葉できちんと説明できることが大切だと思っています。
- ☆ 今回の事業で、県の方、四国厚生支局の方とも一緒に考える機会をいただき、繋いでいただいた事で、これからは一緒に考えてもらえるメンバーが増え、県、四国厚生支局もワンチームのメンバーです。

素晴らしい田中さんとの  
出会いに感謝します

広い視野・熱い思い・細やかな配慮  
温かな  
住民を思う気持ち



KAN-ONJI

